

## 羽村市事業仕分け 議事録

<b>実施日</b>	平成 22 年 12 月 11 日（土曜日）
<b>会 場</b>	市役所 4 階会議室（第 2 会場）
<b>事業名</b>	2 - 7 自転車駐車場の管理運営事業
<b>出席者 （敬称略）</b>	【コーディネーター】進邦徹夫 【仕分け人】双木達雄、塩田篤、伊藤保久、石川美紀
<b>担当課</b>	生活安全課
<b>質疑応答</b>	<p>（仕分け人） 放置自転車の撤去数については、羽村駅東口が極端に多いが理由はなにか。また、撤去された自転車のうち、リサイクルされた自転車以外の自転車はどうしているか。</p> <p>（説明員） 羽村駅東口の撤去台数が多いのは、駅前に放置してある自転車と駐輪場内に長期にわたり放置されている自転車を合わせているためである。これは、駐輪場に放置された自転車の台数が多いということである。また、リサイクル以外の自転車については、返還または破砕処理を行っている。</p> <p>（仕分け人） 長期放置自転車とはどのくらいの期間放置された自転車なのか。基準はあるのか。</p> <p>（説明員） 駅前などに放置された自転車は、条例上は即時撤去できることとなっているが、実際には、警告の札を付けたあと数時間後に撤去している。また、駐輪場内は 1 週間ほど経ってから撤去している。</p> <p>（仕分け人） 自転車の持ち主が不明の場合は、即時処分が可能なのか。</p> <p>（説明員） 持ち主不明の自転車であっても車体番号などを告示し、60 日後に処分可能となる。</p> <p>（仕分け人） 長期間放置されているといった理由で、サビのひどい自転車などは売却できないと思うが、そのような自転車はどうするのか。</p> <p>（説明員） 基本的には、まず売却という方法をとるが、売れ残った自転車については廃棄処分としている。しかし、これからは有価物として無償で引き取っていただく、リサイクル自転車として海外供与する等の有効活用が図れるよう検討している。現在、廃棄処分費用として年間約 20 万円かかっているのが削減につなげたい。</p> <p>（仕分け人） 有料化を検討していくとの説明であるが、今の自転車置き場の環境で有料化としても利用は低いと思う。瑞穂町や昭島市には立派な駐輪場があるが、そのような有料の駐輪場の建設を検討しているのか。また、建設にあたっての土地の確保はできるのか。</p> <p>（説明員） これまでは、無料で自転車駐車を提供してきたが、近隣自治体の状況や維持経費の問題などから有料化を検討している。しかし、設備が必要であったり、長期的に使用できる土地の確保も必要であったりと課</p>

題もある。

(仕分け人) 小作駅周辺の自転車駐車場利用者の約 7 割が青梅市民ということだが、おおざっぱな計算になるが、小作駅周辺の駐輪場で青梅市民のために使っているお金が 1 千万円くらいになる。この問題について青梅市とは協議できないか。

(説明員) 小作駅が青梅市との境に位置することから、確かに青梅市民の利用も多い。その中で、青梅市とも協議を行い、小作駅前には青梅市側でも駐輪場を設置していただいたものである。

(仕分け人) 7 割の青梅市民が利用しているようでは納得できない部分もあるので、もっと踏み込んだ協議が必要ではないかと考える。

(説明員) 有料化を検討する際には、使用料に格差を設けるなどという検討を行いたい。

なお、有料化については、市内部での検討も始まっている。その中で、駐輪場の土地は民有地が多く、特に小作駅周辺には駐輪場として利用している市有地はない。小作駅前に 1 箇所、駐車場として使っている市有地があるが、年間 25,000 千円ぐらいの収益がある。ここを駐輪場とするには収益の問題や周辺の駐輪場との関係もあり、今後も大きな課題として検討していかなければいけない。

(仕分け人) 放置自転車の撤去手数料は年間どのくらい徴収しているのか。

(説明員) 年間約 200 万円である。

(仕分け人) 売却により入る金額はどのくらいか。

(説明員) 売却については、今年 9 月に条例の改正を行ったことから、実際には来年 1 月から実施する。

(仕分け人) 自転車に対する苦情はどのくらいあるのか。

(説明員) 駅前周辺については、使用可能台数のスペースが確保されている。駅前の放置については個人のマナーの問題となるが、ロータリーやお店の前などに止めてしまうことで苦情を受けることもある。

(仕分け人) 使用可能台数は 6,000 台ぐらいあると思うが、これから先の需要の予測はどう考えているのか。

(説明員) 市内 11 の駐輪場で 5,980 台の収容能力があるが、これからエコ等で自転車の普及は増えてくると考えている。

(仕分け人) 駐輪場の環境は今後悪くなると考えているのか。

(説明員) 今後、民間から借りている土地については、相続などの問題で返さなければいけなくなることが予想される。羽村駅西口については、特に駐輪場となる土地の確保が難しいと考えている。

(仕分け人) 撤去した放置自転車の置き場は市内に何箇所あるのか。

(説明員) 市内に 2 箇所ある。

(仕分け人) 小作駅周辺の駐輪場には、多くの青梅市民が利用しているとのことであるが、この問題について、国や東京都からの指示はないのか。

(説明員) ない。

(仕分け人) 立体駐車場の計画は考えているのか。

(説明員) 経費的な問題もあるが、限られたスペースの中でより有効的な駐輪場を整備する必要があり、立体駐車場のことも検討していきたい。

(仕分け人) シルバー人材センターの行う管理状態でよいと考えているのか。

(説明員) シルバー人材センターには、管理をお願いするとともに、駐輪に関する指導の面もお願いしている。

(仕分け人) 有料化になったときの使用料はどのくらいの金額を検討しているか。

(説明員) 近隣の福生市、瑞穂町、青梅市では、月 2,000～3,000 円であるので、同等程度を考えている。

(仕分け人) 近隣自治体の有料化への取組み状況はどうなっているのか。

(説明員) 瑞穂町は 2 箇所ある。あきる野市では 12 箇所全てが無料、青梅市は 13 箇所のうち 3 箇所有料、福生市は 7 箇所全てが有料である。

(仕分け人) 駐輪場の土地のうち、市有地が 2 割というのは、今後の駐輪場の確保に不安が生じる。

(説明員) 市有地が 2 割、東京都の土地が 2 割、その他は私有地である。

(仕分け人) 駐輪場に関する取組みについては、各市町村とは情報交換を行っているのか。

(説明員) 近隣の自治体との情報交換は行っている。

(仕分け人) 小作駅周辺については、駐輪場の位置から考えても、多くの青梅市民が利用というのも仕方がないとも思える。羽村市にとっては大きな問題ではあるが。

(説明員) 青梅市の駐輪場が有料化になったことで、利用が多くなったということもある。民間が駐輪場を運営すれば 2/3 の補助が出ることになっているが、土地を持っている民間の方がなかなか動いていただけない。

民間が経営していくにあたっての問題としては、有料化によりこれまでと同じように駐輪場が一杯になるのかが疑問である。

(仕分け人) 今後、この事業に対する市の予算を増やす考えはあるのか。

(説明員) 限られた予算の中でより有効に取り組んでいく。

<b>判 定</b>	<p>市が実施 より一層の充実を図りつつ、市が実施すべきである。</p> <p>【市が実施（改善が必要）1人、市が実施（現状維持又は充実）4人】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近隣の状況から見ても有料化はやむを得ない。</li><li>・使用料については安い額で市民に提供してほしい。</li><li>・美観・安全という観点から整理整頓された管理が必要である。</li><li>・有料化も含めて検討して、土地の問題もあるが今の収容能力の確保に努めてもらいたい。</li></ul>
------------	--